

令和7年度 檉小 教育目標具現化のための学校評価 集計結果

職員

4:良い 3:やや良い 2:やや不十分 1:不十分

		評価項目	1学期	2学期	3学期
主体的に考え進んで学び子供	1	地域素材・人材活用など、夢や目標をもたせる学習の充実を図った。(キャリア教育)	3.2	3.6	3.4
	2	意欲をもって学習に取り組めるような手立てをとった。	4	3.5	3.8
	3	「話してよかった」と思える聴く態度を育てる指導に努めた。(一事徹底事項)	3.4	3.2	3.2
	4	自分の考えをもたせ、交流して深め広げる時間を設定した。	4	3.2	3.6
	5	字ひの共同体の目標校化、複式教育の研究推進に努めた。(ペア・グループ・カイト学習等)	4	3.7	3.6
	6	授業や家庭学習で自分の気付きを文章化させ、表現力の向上を図った。	3.4	3.2	3.2
	7	教科単元テスト80点以上8割達成、やり直し100%の達成のための手立てをとった。	3.4	3.5	3.4
	8	タブレット等のICT機器を活用した学習を実践した。	3.8	3.7	4
	9	個に応じた課題設定(基礎問題、発展的問題)や指導法の工夫に努めた。	3.8	3.3	3.6
礼儀正しく思いやりのある子	10	自己有用感や達成感を味わわせる教育活動(作品応募・紹介等)に努めた。	3.6	3.5	3.6
	11	時と場、相手に応じた言葉遣いや気持ちのよい返事ができるよう指導した。	3.6	3.3	3.7
	12	いじめ・不登校の未然防止、早期発見、早期解決に努めた。	4	3.8	3.7
	13	自分のよいところや友達のよいところを伝え合う場を設定した。	3.8	3.7	3.8
	14	誰にでも「笑顔で自分からあいさつ」ができるよう指導を行った。	3.8	3.5	3.7
	15	学級園の世話など植物、生き物を大切にすることを育む指導を行った。	3.6	3.5	3.5
	16	主体的な係活動や児童会活動、JRC活動等ができるよう支援した。(SDGsの意識付け)	3.4	3.5	3.5
	17	個に応じた読書活動の充実に努めた(年間目標 低100冊、中80冊、高60冊)	3.4	3.2	3.4
	18	特別支援教育、人権同和教育の視点に立ち、多様性を認め合う指導を行った。	3.8	3.5	3.6
19	物事を多面的に考え、議論する道徳の授業の充実に努めた。	3	3.4	3.4	
自ら挑戦しやり遂げる子供	20	歯の健康に関する指導に努めた(治療率90%以上目標)	3	3.3	3.3
	21	体育授業や外遊びなどで、運動に十分親しむ時間を設定した。	3.6	3.8	3.3
	22	チャレンジがこしまの取組や、一学期一運動の推進を図った。(一輪車・フライング・なわとび)	2.8	3.8	3.4
	23	安全指導を徹底し、危険予測・回避能力の育成に努めた。	3.8	3.3	3.5
	24	物を大切に、自ら後片付けや整理整頓ができるよう指導を行った。	3.6	3.3	3.8
25	目標に向かって、あきらめずに挑戦する心を育てる手立てをとった。	3.6	3.3	3.5	
目指す教師像五項目	26	① 業務改善の推進1 Action(定時退庁日、校務システム活用)に努めた。	3.8	3.3	3.7
	27	① 自身の心身の健康保持に努めた。	3.5	3.3	3.3
	28	② 支援員や専門家・専門機関と連携した生徒指導・特別支援教育を実践した。	3.8	3.5	3.6
	29	② 子供とのふれあいや教育相談を通して、個の理解に努めた。	3.4	3.3	3.5
	30	② 個のよさを発信し心を育てる校内設営の工夫を行った。	4	3.2	3.5
	31	③ 校内・校外研修に積極的に参加し、指導力・経営力向上に努め実践した。	4	3.8	3.7
	32	③ PDCAサイクルに基づき、学級経営や校務の改善を図った。	3.6	3.2	3.5
	33	④ 報・連・相+確を徹底し、チーム檉として計画的な職務の遂行と共通指導に努めた。	4	3.6	3.8
	34	④ 教科分担制、外部講師、アシスタント等との連携による授業の充実を図った。	4	3.7	3.4
	35	⑤ 計画的及び効果的な児童・保護者との教育相談を行った。(傾聴の姿勢)	3.4	3.5	3.6
	36	⑤ 各種便りやブログ等を通じて情報公開を行い、開かれた学校づくりに努めた。	4	3.7	4
	37	⑤ 服務規律の厳正確保に努めた。(信用失墜行為0、人権問題事案0)	4	3.9	4
	38	⑤ PTA活動の充実に努めた。	3.2	3.2	3.2